



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

## 第16回 昆布料理発表会 開催

4月7日、「第16回昆布料理発表会」が根室市総合文化会館で開催され、全13団体から17種類の創作料理が発表されました。会場には約230人の市民が訪れ、工夫を凝らした様々な昆布料理を試食しました。

昆布料理発表会は、歯舞漁協女性部が歯舞産昆布の消費拡大につなげようと1986年に開始。2002年からは市と共催となり、今年で32年目を迎える歴史あるイベントです。

開会式では、歯舞漁協櫻田厚子女性部長より出品団体と料理が紹介された後、紅白のテープカットに代えて昆布カットが行われ、幕が開きました。

会場には「細切り昆布入り栗水羊羹」や「細切り昆布と具沢山きんぴら」など多彩な創作料理がずらりと並び、詰

め掛けた大勢の来場者は一つひとつ試食しながら出来栄を味わいました。日々の食卓にも昆布を取り入れていただき、歯舞産昆布の一層の消費拡大に繋がることを期待します。



アイデア溢れる創作料理が並びました



開会式の昆布カット



試食の様子

## 北海道マリンビジョン21コンテスト2017「優良賞」受賞!

歯舞地区マリンビジョン協議会が、道内各地域で策定された地域マリンビジョンの優れた取組を表彰する「北海道マリンビジョン21コンテスト2017」で、「優良賞」に選定されました。

「優良賞」は、地域マリンビジョンの実現に向け、計画された取組を着実に実行し、他地域への波及効果や持続性が期待される事例の実践地域を表彰するものです。

当協議会では歯舞水産物のブランド化を中心に位置付け、都市との漁村交流や魚食普及などに積極的に取り



岐阜県中学生による民泊

組んでいます。特に昨年度は渚泊の推進に向け、旅行会社や北方領土県民会議等に出向いて誘致活動を行ったり、漁協関係者が講師となり他地区で講演するなど、「先駆的な取組で地域資源を生かした新たな産業の創出が期待される」と高く評価されました。

同コンテストは今年で 10 回目の節目を迎え、今年から表彰制度を「最優秀賞」、「優良賞」、「奨励賞」に変更して実施されました。優良賞に歯舞地区を含め 4 地区、最優秀賞に寿都地区が選ばれ、7 月開催予定の北海道マリンビジョン 21 促進期成会総会の中で表彰式が行われます。



クラブツーリズム東京で歯舞観光を売り込む  
歯舞漁協中村参事

## 北方領土滋賀県民会議 中学生が歯舞へ

平成 30 年度北方領土青少年等現地視察支援事業の一環で、3 月 26 日に滋賀県の中学生 18 名が歯舞漁協を訪れました。

同事業は青少年らに自らの目で北方領土を見てもらうと共に、元島民の体験談などを通して北方領土問題を正しく理解してもらい、返還運動のすそ野を広げることを目的に実施しています。

生徒たちは、本土最東端のパノラマクルーズでバードウォッチングや貝殻島を見て楽しんだ後、歯舞漁協食堂で歯舞の海産物が沢山入った弁当を「美味しい」と喜んで食べていました。



パノラマクルーズ



歯舞漁協食堂で昼食

## 「金たこ」を商標登録



歯舞漁協ではこのほど、活ダコ（大ダコ）に「金たこ」と命名し商標登録し、ブランド化に乗り出しました。当漁協では「一部会一ブランド化」を目指しており、今回で 10 件目の商標登録となります。

取り組むのは歯舞たこかご部会で、規定サイズ以上で活力のあるタコを厳選、昨年当漁協が導入した活魚水槽を使用し、さらに船上・陸送・市場・出荷時の全工程で厳しい選別基準を設けるなど、徹底した管理の下で出荷します。

木村部会長は「活ダコといえば歯舞の『金たこ』の名前が挙がるよう、知名度向上を目指したい。加工業者や消費地に信頼されるよう商品規格の徹底を図り、高鮮度出荷に取り組みたい」と意気込みを話し、今後のブランド定着に向け期待が高まります。

## 編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

